



助教

【専門領域】

畠山 久司

発達障害領域の作業療法

はたけやま ひさし

多職種連携

作業療法学科

研究・実務の業績

1. 畠山久司,高島紀美子：混合型四肢麻痺を呈した脳性麻痺児に対するパソコン導入を行った一事例.第14回東海北陸作業療法学会 2014.
2. 畠山久司,齋木美歩,越知信彦,吉橋裕治,高島紀美子,小島好：保育能力の向上に焦点をあてた協働的作業療法の有効性に関するパイロット研究.第62回全国肢体不自由児療育研究大会 2017.
3. 畠山久司,小松則登,高島紀美子,越知信彦：偏食と特定の食具使用への拒否が強いダウン症児に対する摂食訓練～身体を用いた間接訓練と直接訓練の併用による介入～.第6回日本発達系作業療法学会 2018.
4. 雑誌「小児リハビリテーション」編集委員

学生へのメッセージ

大学を卒業してから子どもと子どもに関わる方々に対して作業療法を行ってきました。未だにうまくいかないこともたくさんあり、日々学び続けながら生活をしています。しかし、作業療法を通じて、目の前の方々の笑顔を見ることができた時や、うまくできるようになった話などを聞いた時の充実感や達成感は忘れることができません。作業療法は、目の前の方々の人生に貢献することができる素敵な仕事であると共に、自分自身を一人の人間としても成長させてくれる仕事だと思っています。そんな奥深い学問である作業療法を、皆さんと一緒に学んでいきたいと思っています。

また、大学生活は今後の人生の財産となります。色々な人と出会うこと、たくさん学ぶこと、たくさん遊ぶことは社会人に向けた準備になります。さらには、大学生活で経験する全てのことは素敵な作業療法士になる糧になるといっても過言ではありません。十人十色の方々を支えることができるように、大学生活を通じてたくさんの経験を積んで、色々な価値観を学んでいって下さい。充実した大学生活を送ることができるよう、皆さんの支えになればと思っています。

目の前の方々の人生にしっかり寄りそえる作業療法士になれるよう、一緒に頑張りましょう！そして、子どもへの作業療法に興味・関心がある方は、是非連絡を下さい。心よりお待ちしております！